

# 土井プロジェクト

研究代表者

ソフトウェア情報学部 土井章男

## ～課題名～

## さんりく沿岸における復興計画の3Dモデル化と人材育成

～共同研究者～ 宮古短期大学部/大志田憲、総合政策学部/高嶋裕一、八戸工業大学工学部/准教授 伊藤智也、いわてDEセンター/講師 榊原健二、いわてDEセンター/所長 黒瀬左千夫、オートデスク社/マーケティング土木・公共担当 野坂俊二、一関工業高等専門学校/准教授 佐藤陽悦、宮古市都市計画課/課長 中村晃、陸前高田市/都市整備局長 山田壮史

## ～参画機関～

岩手県立大学、宮古市、陸前高田市、八戸工業大学、いわてDEセンター、オートデスク社、一関工業高等専門学校

## ～研究概要～

宮古市、陸前高田市、大槌町の都市計画課より都市計画データを提供して頂き、複数地域の復興計画の3Dモデル化を行っている。平成26年度では、宮古市田老地区・鉾ヶ崎地区の3Dモデル化を行った。今後、東日本大震災からの復興をより加速化するために、我々は以下の点に重点をおいて、研究を行っている。

### 1) 合意形成の迅速化による復興促進

復興計画図面では、計画内容が一般住民に分かりづらい(図1)。そのため、我々は復興計画の3Dモデル(図2)を作成し、住民説明会、情報プラザ等で利用する事で、合意形成の迅速化に貢献する(図3)。

### 2) 人材育成、育成カリキュラム作成、セミナー開催

復興計画の3Dモデル化が行えるCIM(※1)技術者を育成しながら、雇用創出や企業育成につなげていく。

※1 CIM: construction Information Modeling/Management の略。地形や道路等に対し3次元のモデル化を行う取り組み

### 3) 被災地域への3D地図化の試みと先進的なモデルケースの実現

岩手県内の民間企業、都市開発機構、ゼネコン、各自治体等と情報交換を行いながら、CIMの概念を取り入れた3D地図化を試みる。



図1 復興計画図面例



図2 宮古市鉾ヶ崎地区の3Dモデル化



図3 住民説明会(大槌町、宮古市)